

賞、留守宅家族遺族の援護等を処理するに方  
り其の根基と為すへき重要書類」との方針が  
明確にされており、各部隊でもその重要性を  
認識していたといえます。

すべての留守名簿が現存しているわけでは

なく、その中で入手した恩納村関連の留守名  
簿は二十五点(表1)です。今回はその名簿  
の中で、防衛召集概況一覽表(琉球政府社会  
局援護課調査係)において恩納村から二〇〇  
名が召集されたとされる第三十二野戦兵器廠  
について紹介します。

味前	庄	数	番	渡	納	恩	味	大	志	久	東	村
二戦隊	海上挺進一戦隊	海上挺進三戦隊	第三連番隊	五〇三特務工兵隊	野戦兵器廠	第四連番隊	新設才上等兵隊	第三連番隊	五〇三特務工兵隊	独混才二步兵隊	才四飛行隊大隊	野戦貨物廠
八〇	一〇	六九	二〇	七〇	三〇	三〇	三〇	八〇	三〇	八〇	一〇〇	村員
阿嘉	座間味	渡嘉敷	恩納村	伊江島本部	南風系村	恩納村	伊江島本部	名渡附近	伊江島	北谷村	小嶺村	勤務地
		19.10.下	20.2.11	19.12.10	20.3.6	20.3.1	20.3.6	19.11.1	20.3.6	20.3.6	20.3.6	年月日
			阿高祖校	恩納校	大宜朱校			名渡		東校	阿高祖校	自木合陽斗

防衛召集概況一覽表

恩納村においては  
一九四五年三月六日  
に召集がかけられ恩  
納国民学校に集めら  
れ、その日のうちに  
出発、野戦兵器廠が  
配置されていた南風  
原村(当時)宮平に  
向かいました。

(瀬戸)



恩納小中学校(当時国民学校)

《参考文献》

- ・第三十二軍野戦兵器廠・球第一八八二部隊  
留守名簿(国立公文書館所蔵)
- ・「沖縄県史」資料編二十三 沖縄戦日本軍史料  
沖縄戦6 沖縄県教育委員会(二〇〇二)
- ・「戦世の南風原」語る のこす つなぐ  
南風原町(二〇一三)
- ・陸軍人事資料制度にみる沖縄県所管の陸軍戦  
時名簿(陸軍兵籍簿)の概観とその由来  
近藤貴明 沖縄県公文書館研究紀要  
(二〇一五)三月